祝　辞

国立情報学研究所学術基盤推進部
次長　木下　聡

このたびは、第81回私立大学図書館協会総会・研究大会の遠隔でのご開催、まことにおめでとうございます。ご開催にあたりまして、ご挨拶を申し上げるとともに、国立情報学研究所の事業についてご紹介させていただきます。

新型コロナウィルスCOVID-19の猛威の中、私立大学図書館協会の加盟館のみなさまにおかれましては、感染の拡大防止とそのなかでの教育や研究の継続、またそれらを支援する図書館の使命を果たすために大変なご苦労をされていることと思います。そしてこのような状況のなかで、遠隔開催を企画された方々のご努力、私立大学図書館のみなさま方の結束力に深い敬意を表します。

国立情報学研究所でも、3月の末から、「4月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム」をほぼ毎週オンラインで開催するなど、大学共同利用機関として、遠隔授業等の準備状況に関する情報を出来る限り多くの大学間で共有する取組をしてまいりました。また、4月のはじめから、在宅勤務を中心とした業務体制をとっておりまして、そのために、連絡の不備や業務の遅れなど、大学図書館のみなさまにもご迷惑をおかけしていることかと思います。今後も事業を継続していくためにできる限りの工夫や努力を続けていく所存でございますので、みなさまのご理解とご協力をいただければ幸いです。

さて、国立情報学研究所は、National Institute of Informatics通称「NII」と呼ばれ、日本で唯一の情報学に関する総合的な研究所です。それと同時に、大学共同利用機関でもあり、大学のみなさまと連携しながら、学術情報基盤を構築・運営する組織でもあります。具体的には、SINETをはじめとする学術情報ネットワーク事業、そして図書館のみなさまになじみの深い学術コンテンツ事業、この2つを中心に事業を展開しております。今回はNIIの事業のうち大学図書館にかかわりの深い、1)オープンサイエンス、2) CAT2020、3)連携組織の3つについてご紹介させていただきます。

近年、NIIの事業として、中心的に取り組んでいるのが、オープンサイエンス事業です。2017年には、オープンサイエンスに特化したオープンサイエンス基盤研究センターを新たに設置しました。このセンターを中心に、オープンサイエンス推進のための研究データ基盤「NII Research Data Cloud」(NII RDC)（図参照）を開発し、今年度中に運用を開始する予定です。このNII RDCは、研究データの管理、公開、検索という3つの基盤からなっています。このうち、公開基盤は、学術機関リポジトリのシステムであるJAIRO Cloudをベースにしており、研究データも扱えるように再開発し、新JAIRO Cloudとして今年度に移行することになっています。貴協会のなかでもJAIRO Cloudをお使いいただいている図書館もあり、移行にあたっては、今後いろいろとご協力いただくことになると思います。また、検索基盤は、論文や図書の検索サービスであるCiNiiについて、研究データにも対応したCiNii Researchを開発しているところです。今後、我が国

においてオープンサイエンスを推進していくにあたっては、大学図書館こそが中心的な役割を果たしていくことになるのではないかと考えておりますので、引き続きご協力のほど、よろしくお願いいたします。

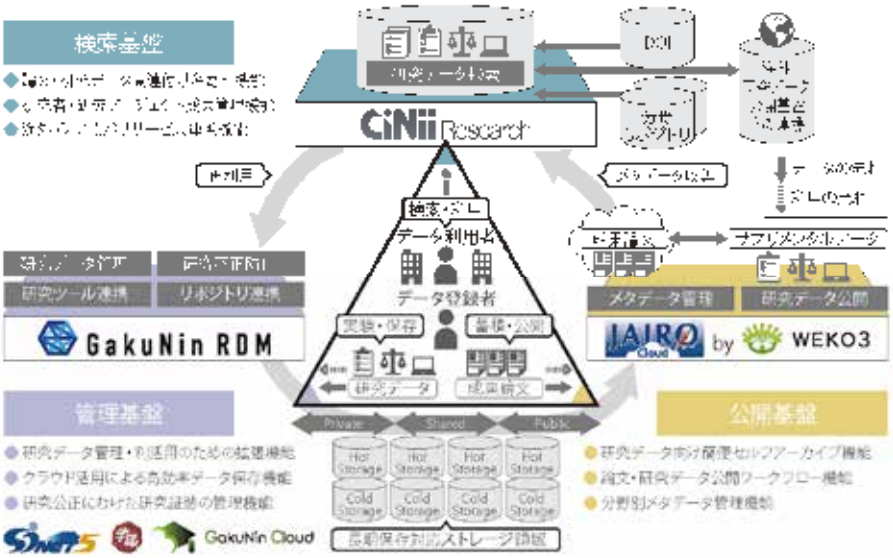

図 オープンサイエンス推進のための研究データ基盤（NII RDC）

大学図書館のみなさまに 30 年以上にわたって長年ご利用いただいている、目録所在情報サービス NACSIS-CAT/ILL は、2020 年 8 月 3 日から新しく CAT2020 として運用を開始いたしました。この CAT2020 は、これからの学術情報システム構築検討委員会が、長年にわたって協議・検討を重ねてきた成果で、現在は引き続きその先のシステムのあり方について検討を進めているところです。ユーザのみなさま方からも、ぜひたくさんのご意見・ご要望をお寄せいただきたいと考えております。なお、当初は、6 月に運用を開始する予定でしたが、新型コロナ感染拡大の影響もあって、遅らせることになりましたが、ご了解くださいますようお願いいたします。

NII と大学図書館との連携の下に活動している組織として、先述のこれからの学術情報システム構築検討委員会のほかに、大学図書館コンソーシアム連合「JUSTICE」とオープンアクセスリポジトリ推進協会「JPCOAR」があります。ご存じかとは思いますが、JUSTICE は、電子ジャーナルを中心とした学術情報を、安定的、継続的に確保して提供するための活動を推進する組織です。そして、JPCOAR は、先ほどお話ししましたオープンサイエンス、そして機関リポジトリに関する活動をしております。NII では、大学図書館との連携を事業の大きな柱としておりますので、引き続きこうした連携活動を支援していきたいと考えております。大学図書館のみなさまにおかれましても、それぞれの作業部会等に参画したり、NII に実務研修生を派遣いただいたりなど、特に人的リソースにおいてより主体的、積極的にご参画くださるよう、あらためてお願い申し上げます。

最後になりますが、総会・研究大会のご成功、私立大学図書館協会のますますのご発展、そして会員館のみなさま方のご健勝を祈念いたしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。